

とうきょう すくわくプロジェクト 活動報告書

園名	なごみ第二保育園
活動日時	2024 年 11 月 21 日(木)
クラス名(年齢)	いるか組(3 歳児)
年間テーマ	音の探究活動

1. 活動テーマ

<テーマ>

音を表現してみよう

<テーマの設定理由>

歌や踊りに興味を持ち、クラスとしてリトミックを楽しんでいる。また、他者に興味を持ち一緒に活動したり協力することを楽しむようになってきているため、耳から入ってくる音や音楽を保育者からの働きかけによって全く違う方法で表現することを楽しめるのではないかと考えた。

2. 活動スケジュール

- ・聞いた音楽や音に合わせて、歩く、走る、しゃがむ、跳ねる、転がるなど、身体表現する。
- ・気の合う友達とグループになりそれぞれが感じた気持ちや感覚を共有する。

3. 環境をデザインする(準備した素材や道具、環境設定)

・ピアノ

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・始めは子犬のマーチに合わせて行進をして、早く・遅く、高く・低くをランダムに弾きその音楽に合わせて走る、ゆっくり歩く、足を踏み鳴らすなどの身体表現を行う
- ・ランダムに弾く中で時々効果音も入れる。それもまた様々な高さや違う効果音を用いてその音に合わせて自由に体を動かす。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
・音楽に合わせて自由に動いていいと言われ部屋中を歩いたり、その場で足を踏み鳴らしたり、自由に踊る子がいた	

・低い音を大きくならずと「きゃー」「雷だ！」などと言
い、小さくなってへそを隠したり、隠れるふりを
していた。



・気の合う友達とグループになって標準の速さで
子犬のマーチを弾くと「のんびり歩きたい」と言っ
たグループや「ゴロゴロしたい」と言ったグループ
があった。グループ内では友達の発言をじっと聞
いている子、“自分は～だと思った”と自分が感じ
たことを言う子様々だった



5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

日頃からリトミックは行っているが、グループを組んで行うことで保育者が想像しなかった動きをしている子どもたちがいた。例えばいつものリトミックでは行進、走る、ゆっくり歩くなどの動きをすることが多い曲も、保育者が「どんな気分？」や「何が見えた？」などの具体的な質問をすることで、曲に合わせて左右に転がる、座り込む、手を叩くなどの反応が見られた。同じ経験でも働きかけが変わることで子どもたちの様々な表現が引き出せるのだということや、保育者が先入観や固定観念を持つことで子どもたちの表現力を狭めてしまうこともあるのだと気づかされた。